



- 2012（平成24）年度のFD活動を振り返ってみました -

1. 2012年度新任教員オリエンテーションを開催しました。

4月2日の辞令交付式後、次のとおり開催しました。

- 1) 挨拶・研修目的及び本日の研修内容の説明
- 2) 本学の理念、沿革、教育目標
- 3) 学年暦、本学ポータルサイト及び教育支援システムについて概要説明
- 4) 学生相談体制について
- 5) キャンパスツアー

オリエンテーションの様子

**2. 教育支援者（TA・SA）研修会を開催しました。**

4月、9月、3月とそれぞれの時期に対応するテーマで開催しました。

- ・事前研修は心構えと注意点の理解
- ・中間研修は教育支援者としての学生とのコミュニケーション力アップ
- ・事後研修は教育支援者体験を経験に変え、今後に生かす

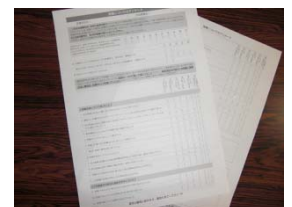
※2012年度教育支援者70名[TA (Teaching Assistant) 21名・SA (Student Assistant) 49名]

TA・SA研修会の様子

**3. 「授業についてのアンケート」を実施しました。**

従前の「学生による授業評価」を目的とした「授業評価アンケート」から、2012年度後期より「授業の理解度に関する自己評価」と「学生による授業評価」の2つの視点をもった「授業についてのアンケート」に改定して実施しました。

今回の改定により、授業改善だけでなく、学生自身が学習状況を振り返ることにより学習意欲の向上に繋がることが期待されます。アンケート結果を踏まえ、今後も更なる効果的なアンケート実施を目指します。



授業と学習状況について
振り返る内容になりました

4. FD支援プロジェクト・指定プロジェクト「成績評価の再検討」

成績評価の公正化・厳格化が大学に求められている状況で、本プロジェクトにおいて本学の成績評価の現状を確認し、問題点を改めて検討しました。今後は、「シラバスの実質化」および「成績評価の再検討」の内容を総括し、現行シラバスおよび成績評価の変更・実施に向けての活動を行う予定です。

5. 授業改善計画書に基づくFD活動・指定科目「第二外国語」

大学の語学教育において第二外国語は重要であるが、教員個人の努力に頼っている面もある。改めて本学の第二外国語教育の現状を確認し、科目毎に参考にできる点や第二外国語教育の問題点を洗い出し、第二外国語教育をよりよい方向へ進められるように検討しました。今後は、英語の結果と連動させ、本学の外国語教育を充実させていく予定です。

6. FD研修会を開催しました。

講師に川島啓二氏（国立教育研究所 高等教育研究部 総括研究官）を迎え、「大学教育の質向上と学生支援」をテーマに、FD研修会を開催しました。（2012年11月19日開催）

